

活動体系図ver.2 作成にあたり

(1)活動体系図 ver.1 でいただいたご意見

- ・なぜ、この体系図が必要なのかの説明が必要である。・評価指標、事業評価の方法や長期目標が不明確である。・目標の期間設定があればよい。

- ・長期目標については、長期の目標に関連する様々な要因を整理したうえで、ワーキングで何ができるかを考える必要がある。
- 「日常療養支援」の部分で、訪問診療、訪問看護、訪問薬剤指導の指標に加え、訪問リハビリや訪問栄養食事指導もあるので、体系図 に落とし込むとよい。

(2)活用目的

・施策の検討に当たり、成果(アウトカム)と施策の結果(アウトプット)の関連性を明確にすること、ロジックモデル(※1)のツールを活用し た評価を行い、必要に応じてその結果を施策に反映することにより、PDCAサイクル等の実効性を確保することを目的にする。 ・計画・事業の進捗を管理していく。

(3)変更内容

 ・指標	番号	箇所	意見•課題	変更内容
指標 評価指標が不明確である。	全体	目標		(※2029年は、第10期介護保険事業計画、第8次県医療計画の最終年、2040年は、団塊
フーキング 両規が多くわかりづらい。		指標	評価指標が不明確である。	・IHEP作成のロジックモデル(※2)の指標の考え方をもとに、再度検討した。 ・アウトプット指標について、市、高岡医療圏、県、国のデータを追記した。
 ① では、到達できないのではないか。 ・主語がなく、わかりづらい。		ワーキング	再掲が多くわかりづらい。	・活動内容を具体的に記載し、整理した。
2	1	標とその指	では、到達できないのでは	「多職種が在宅医療・介護について理解を深めることができる」に変更した。
 ・中期目標との整合性を図り、指標を見直し、削除した。 ・「人生いきいきノートの普及啓発」について、指標を追加した。 ・「人生いきいきノートの普及啓発」について、指標を追加した。 ・中期目標との整合性を図り、目標を「市民がACPについての正しい知識を得ることがる」に修正し、指標を見直した。 ・ 神期の目 である。 ・ は、 ・ は、 ・ は、 ・ は は である。 ・ は、 ・ は、 ・ は は である。 ・ は、 ・ は は である。 ・ は、 ・ は は は である。 ・ は、 ・ は は は は が である。 ・ は は は は は は が である。 ・ は は は は は は は は は な が り が で い は は は は な が り が で い は は は な が り が で い は は な が り が で い は は な が り が で い は は な が り が で い は は な が り が で い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は は な か い は な な な い は は な か い は は な な な い は は な な な な い は は な な な な	2		・評価指標が不明確であ	・指標について、高岡多職種ネットの利用状況を追加し、併せて、登録施設数の内訳を追
 事価指標が不明確である。 ・中期目標との整合性を図り、目標を「市民がACPについての正しい知識を得ることがる」に修正し、指標を見直した。 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの指標の考え方をもとに、アウトブット指標を見直した。 ・長期目標とのつながり、他の中期目標とのつながりが不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトブット指標を見直した。 ・長期目標とのつながりが不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 「日常療養支援」の部分で、訪問診療、訪問看護、訪問環治指導に加え、訪問リハビリや訪問栄養食事指導もあるので、体系図に落とし込むとよい。 	3		評価指標が不明確である。	・中期目標との整合性を図り、指標を見直し、削除した。
 高」に修正し、指標を見直した。 る」に修正し、指標を見直した。 証価指標が不明確である。・IHEP作成のロジックモデルの指標の考え方をもとに、アウトプット指標を見直した。 中期の目標とその指標とその指標を表面に表現の世界の表示がある。・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトプット指標を見直した。 事価指標が不明確である。・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、目標を見直した。不明確である。・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 事価指標が不明確である。・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 事価指標が不明確である。・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 市は標が不明確である。・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトブット指標を追加した。 「日常療養支援」の部分で、訪問診察・訪問看護、訪問薬剤指導の指標に加え、訪問リハビリや訪問栄養食事指導」を追加した。 アウトブット評価指標の中に、「訪問リハビリ」や「訪問栄養食事指導」を追加した。 アウトブット評価指標の中に、「訪問リハビリ」や「訪問栄養食事指導」を追加した。 	4		評価指標が不明確である。	・「人生いきいきノートの普及啓発」について、指標を追加した。
② 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの指標の考え方をもとに、アウトプット指標を見直した。 ● 押りの目標との力ながり、他の中期目標とのつながりが不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、日標を見直した。 ② 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 ① 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 ① 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトプット指標を追加した。 ① 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトプット指標を追加した。 「日常療養支援」の部分で、訪問診療、訪問看護、訪問薬剤指導の指標に加え、訪問リハビリンや訪問栄養食事指導」を追加した。 ・アウトプット評価指標の中に、「訪問リハビリ」や「訪問栄養食事指導」を追加した。 ② 落とし込むとよい。	(5)		評価指標が不明確である。	・中期目標との整合性を図り、目標を「市民がACPについての正しい知識を得ることができる」に修正し、指標を見直した。
(1) 長期目標とののはがり、他の中期目標とのつながり、他の中期目標とのつながりが不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、目標を見直した。 (1) 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 (1) 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 (1) 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトプット指標を追加した。 (2) 日常療養支援」の部分で、訪問診療、訪問看護、訪問薬剤指導の指標に加え、訪問リハビリンも訪問栄養食事指導」を追加した。 (3) アウトプット評価指標の中に、「訪問リハビリ」や「訪問栄養食事指導」を追加した。 (4) アウトプット評価指標の中に、「訪問リハビリ」や「訪問栄養食事指導」を追加した。 (5) アウトプット評価指標の中に、「訪問リハビリ」や「訪問栄養食事指導」を追加した。	6	標とその指	評価指標が不明確である。	・IHEP作成のロジックモデルの指標の考え方をもとに、アウトプット指標を見直した。
(3) 標とその指標 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、目標を見直した。 (9) 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 (10) 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 (11) 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトプット指標を追加した。 (12) 日常療養支援」の部分で、訪問診療、訪問看護、訪問薬剤指導の指標に加え、訪問リハビリや訪問栄養食事指導もあるので、体系図に落とし込むとよい。 ・アウトプット評価指標の中に、「訪問リハビリ」や「訪問栄養食事指導」を追加した。	7		評価指標が不明確である。	・IHEP作成のロジックモデルの指標の考え方をもとに、アウトプット指標を見直した。
 (1) 評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。 (1) 長期の目標の書え方をもとに、アウトプット指標を追加した。 (1) 長期の目標の書え方をもとに、アウトプット指標を追加した。 (1) 「日常療養支援」の部分で、訪問診療、訪問看護、訪問薬剤指導の指標に加え、訪問ッパビリや訪問栄養食事指導の事業に加え、訪問リハビリや訪問栄養食事指導もあるので、体系図に落とし込むとよい。 	8		の中期目標とのつながりが	・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、目標を見直した。
① 長期の目標の指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトプット指標を追加した。 「日常療養支援」の部分で、 訪問診療、訪問看護、訪問薬剤指導の指標に加え、訪問リハビリや訪問栄養食事指導もあるので、体系図に落とし込むとよい。	9		評価指標が不明確である。	・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。
長期の目標とその指標とその指標を表し込むとよい。 「日常療養支援」の部分で、	10		評価指標が不明確である。	・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。
長期の目標とその指標とその指標に加え、訪問がでは、「訪問がでは、「訪問が、「お問が、「お問が、「お問が、「お問が、「お問が、「お問が、「お問が、「お	11)	長期の目 標とその指 標	評価指標が不明確である。	・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトプット指標を追加した。
評価指標が不明確である。 ・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。	12		訪問診療、訪問看護、訪問 薬剤指導の指標に加え、訪問リハビリや訪問栄養食事 指導もあるので、体系図に	・アウトプット評価指標の中に、「訪問リハビリ」や「訪問栄養食事指導」を追加した。
			評価指標が不明確である。	・IHEP作成のロジックモデルの目標の考え方をもとに、アウトカム指標を追加した。

^{※1} ロジックモデル: 施策が目標とする成果を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの

^{※2} IHEP作成のロジックモデル: IHEP(一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構)で、都道府県での医療計画策定・ 評価の参考とするために作成された。

多職種が在宅医療・介護について理解を深めることができる アウトプット指標 アウトカム指標 の構造対象の研修会参加者数 の報種対象の研修会参加者数 (R6) 第1回 59名 第2回 100名 第2回 100名 第3回 101名 研修会に参加して理解が深まったと思う多職種の人の割合※1 (R6) 第1回 93% 第2回 89% 第3回 84% ACPについて理解している多職種の人の割合※2、※3 (R6) ※260% ※361%